

科目名	シンクタンク論	
担当者	井熊 均	
配当学期	2011前期	
単位	2単位	
授業概要	<p>政治、行政両面でシンクタンクに対する期待はますます高まっている。日本でも1980年代以降多くの総合研究所が設立されが、官製、民製を問わず、日本のシンクタンクには位置づけや運営方法には課題もある。本講義では、アメリカのシンクタンクの活動を概観した後、何故、今日本でシンクタンクが必要なのかを考える。その後、総合研究所を中心として日本のシンクタンクの活動を把握し、その位置づけや存在意義を把握する。その上で、民間企業としての総合研究所の歴史に焦点を当て、日本型シンクタンクビジネスの是非について検討を加える。最後にシンクタンク分野での新しい改革を紹介し、日本型シンクタンクの方向性を検討する。講義の中では、書籍や提案書の企画書等の作成のための実習も行う。</p>	
授業の到達目標	<p>日本におけるシンクタンクのあり方を理解できること。 シンクタンカーとして必要となる素養について理解できること。</p>	
授業計画	<p>(1) アメリカにおけるシンクタンクの活動 (2) シンクタンクの定義、NIRA の活動内容 (3) 日本におけるシンクタンクの意義と活動内 (4) シンクタンクの政策提言活動 (5) 論文、本の書き方 (6) シンクタンクのコンサルティングサービス (7) 企画書作成の実習 (8) 良いコンサルタントになるために (9) 民間企業におけるシンクタンクビジネスの経緯 (10) シンクタンクが進める改革 (11) シンクタンクの将来動向 (12) シンクタンクに求められる人材像</p>	
教科書	<p>特になし (講義ごとにペーパーを配布)</p>	
参考文献	<p>特になし</p>	
成績評価方法		評価基準

	試験 0%	
	レポート 100%	
	平常点評価 %	
	その他 %	
関連 URL		
備考		